

マルチクライアント調査

パーキンソン病治療におけるMAO-B阻害剤の将来性に関する調査

2018年11月

《 調査報告書 》

TESTA
MARKETING
INC.

テスト マーケティング 株式会社
〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 2-14 パールビル 4F
Telephone 03-5642-3768 Facsimile 03-5642-3778

《 目 次 》

◎ サマリー

◎ 調査概要 (2)

◎ パーキンソン病患者数の状況 (3)

◎ 「パーキンソン病診療ガイドライン2018」発刊によるMAO-B阻害剤処方
の影響 (4)

◎ 進行度別パーキンソン病治療で重視する点・治療ゴール (5)

◎ 薬剤処方患者数 (6)

◎ 進行度別最も頻度の高い処方パターン (7)

◎ 早期パーキンソン病における処方パターン1位の患者像及び処方理由 (8)

◎ 早期～進行期パーキンソン病における処方パターン1位の患者像及び
処方理由 (9)

◎ 進行期パーキンソン病における処方パターン1位の患者像及び処方理由 (11)

◎ 薬剤の評価 (5段階) (13)

◎ 薬剤評価 (総合評価の理由) (14)

◎ MAO-B阻害剤を処方で初回治療に用いる強み、及び懸念点 (26)

◎ パーキンソン病治療剤のプロモーション活動における評価 (28)

◎ パーキンソン病治療剤のプロモーション活動における総合評価の理由 (29)

◎ 進行度別・開発製品上市後のピーク時における処方状況 (35)

◎ エフピーとアジレクトの将来的な位置づけ (36)

● 考察

● MAO-B阻害剤の単剤使用での可能性 (37)

● MAO-B阻害剤の現状と将来性 (38)

● MAO-B阻害剤の処方量・処方割合向上のため必要なこと (39)

詳細集計編

1. 調査概要 (40)

2. 月間受け持ち患者数及び月間パーキンソン病受け持ち患者数 (41)

3. 重症度別パーキンソン病総受け持ち患者数の処方割合 (42)

4. 重症度別/治療内容別の医師1人あたりの平均受け持ち患者数 (43)

5. 調査対象医師20名の重症度分類別/治療内容別の受け持ち患者の有
無 (44)

6. 進行度別パーキンソン病患者の割合と医師20名における平均患者数 (45)

7. Wearing off発症患者割合と平均患者数、及び症状の判断基準 (46)

8. 早期パーキンソン病患者における運動症状の有無及び運動症状の判断
基準 (47)

9. 「パーキンソン病診療ガイドライン2018」発刊によるMAO-B阻害剤処方
の影響 (48)

10. 進行度別 パーキンソン病治療で重視する点・治療ゴール (51)

11. 進行度別薬剤処方割合 (56)

12. 薬剤別/進行度別の薬剤処方状況 (57)

13. パーキンソン病患者に対する進行度別薬剤処方割合 (58)

14. パーキンソン病治療剤処方医師の薬剤別処方に無状況 (59)

15. 上位3位の処方パターンにおける進行度別/処方患者数 (60)

16. 早期パーキンソン病における処方患者数と処方医師数及びその
処方理由 (61)

17. 早期～進行期パーキンソン病における薬剤処方パターン及び
処方患者数と処方医師数 (62)

18. 早期～進行期パーキンソン病における薬剤処方パターン及び
処方患者数とその処方理由 (66)

19. 進行期パーキンソン病における薬剤処方パターン及び処方患者数と
処方医師数 (72)

20. 進行期パーキンソン病患者の薬剤処方パターンにおける処方患者像と
その処方理由 (76)

21. エフピーを単剤で処方することでの強み、懸念点・未処方理由 (81)

22. アジレクトを単剤で処方することでの強み、懸念点・未処方理由 (84)

23. MAO-B阻害剤の処方量・処方割合向上のため必要なこと (87)

24. パーキンソン病治療剤の各項目に対する回答医師の平均点 (91)

25. パーキンソン病治療剤に関する評価 (点数別回答者数) (92)

26. パーキンソン病治療剤に関する評価 (93)

27. MAO-B阻害剤に関する総合評価の理由 (94)

28. スタレボ、コムタンに関する総合評価の理由 (95)

29. ノウリアスト、トレリーフに関する総合評価の理由 (96)

30. 現在開発中治療剤の認知度及び評価 (97)

31. 進行度別・開発製品上市後のピーク時における処方状況 (103)

32. MRの活動状況 (104)

33. 指定6社におけるパーキンソン病に関する活動状況 (105)

34. 指定6社のパーキンソン病に関する評価の点数内訳 (109)

35. 指定6社のパーキンソン病に関する各項目の評価平均点 (115)

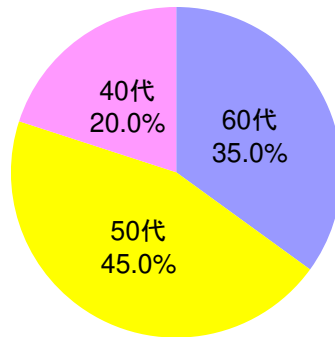
36. 指定6社のパーキンソン病に関する各項目の評価平均点比較 (121)

37. 総合評価の理由 (122)

サマリー:調査概要

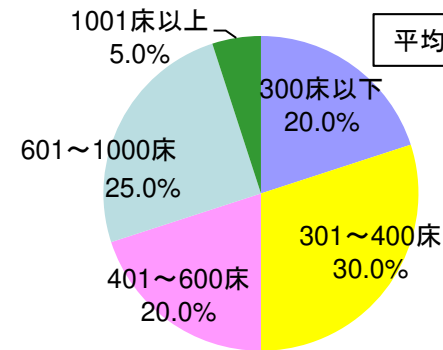
テーマ	パーキンソン病治療におけるMAO-B阻害剤の将来性に関する調査
調査対象地域	1都6県(東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県)
調査対象件数	20人
調査対象者	神経内科医師
調査方法	訪問面接インタビュー
調査時期	2018年9月10日～10月10日(インタビュー期間)

調査対象医師年齢 (N=20)



平均年齢:56.4歳

所属施設病床数 (N=20)



平均病床数:502.2床

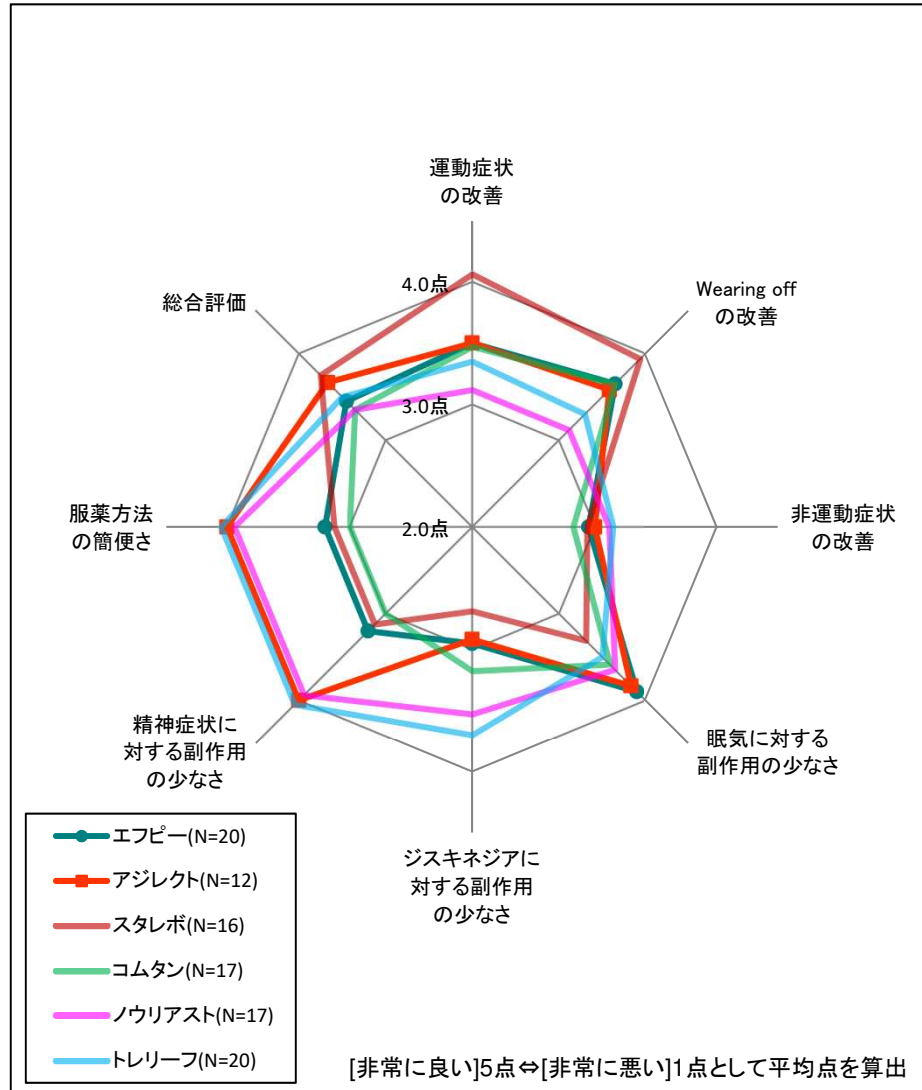
本調査における進行度の定義

早期パーキンソン病患者: L-ドパ及びドパミンアゴニスト未処方

早期～進行期パーキンソン病患者: 早期にも進行期にも該当しないパーキンソン病患者

進行期パーキンソン病患者: L-ドパの服用回数が5回以上、オフ時間が2時間以上、問題となるようなジスキネジアが1時間以上

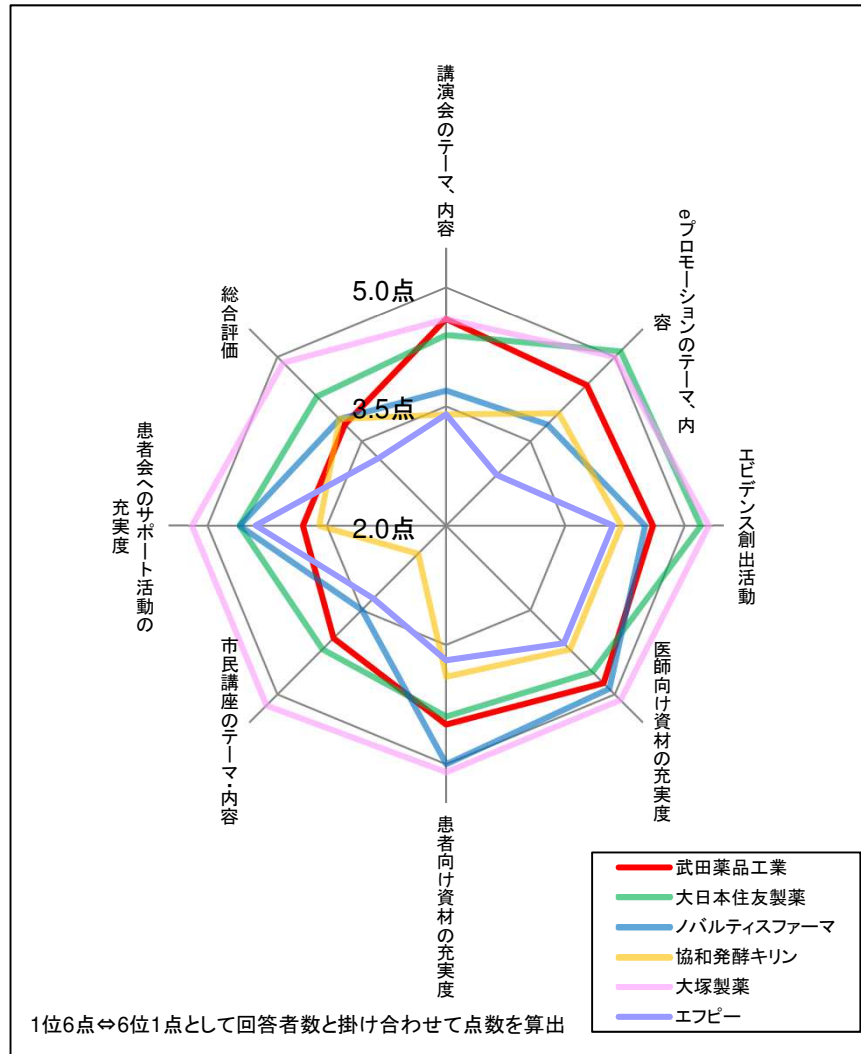
サマリー:薬剤の評価(5段階)



回答医師における平均点

	エフピー (N=20)	アジレクト (N=12)	スタレボ (N=16)	コムタン (N=17)	ノウリア スト (N=17)	トレリーフ (N=20)
運動症状の改善	3.5点	3.5点	4.1点	3.5点	3.1点	3.4点
Wearing offの改善	3.7点	3.6点	3.9点	3.6点	3.1点	3.3点
非運動症状の改善	3.0点	3.0点	2.9点	2.8点	3.1点	3.2点
眠気に対する副作用の少なさ	3.9点	3.8点	3.3点	3.6点	3.6点	3.5点
ジスキネジアに対する副作用の少なさ	3.0点	2.9点	2.7点	3.2点	3.5点	3.7点
精神症状に対する副作用の少なさ	3.2点	4.0点	3.1点	3.0点	3.9点	4.1点
服薬方法の簡便さ	3.2点	4.0点	3.1点	3.0点	3.9点	4.1点
総合評価	3.5点	3.7点	3.8点	3.4点	3.4点	3.5点

サマリー: パーキンソン病治療剤のプロモーション活動における評価



	武田薬品工業	大日本住友製薬	ノバルティスファーマ	協和発酵キリン	大塚製薬	エフピー
講演会のテーマ、内容	4.6点	4.4点	3.7点	3.4点	4.6点	3.4点
eプロモーションのテーマ、内容	4.5点	5.1点	3.8点	4.0点	5.0点	2.9点
エビデンス創出活動	4.6点	5.2点	4.5点	4.2点	5.3点	4.1点
医師向け資料の充実度	4.8点	4.6点	4.9点	4.2点	5.1点	4.1点
患者向け資料の充実度	4.5点	4.4点	5.0点	3.9点	5.1点	3.7点
市民講座のテーマ・内容	4.0点	4.2点	3.5点	2.5点	5.2点	3.3点
患者会へのサポート活動の充実度	3.8点	4.6点	4.6点	3.6点	5.2点	4.4点
総合評価	3.8点	4.3点	3.9点	3.9点	4.9点	3.2点

「パーキンソン病治療におけるMAO-B阻害剤の将来性に関する調査」

頒価：800,000円(消費税別)

発行日：2018年11月12日

発行人：金塚 進

発行所：テスト マーケティング株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町2-14
TEL 03-5642-3768
FAX 03-5642-3778

日本語・外国語を問わず、いかなる形式でも本書の一部または全部の複製無断転載をお断り致します。